

# しちがはま

## 議会だより

No. 124

平成27年7月15日  
宮城県七ヶ浜町議会

荒波に乗って!!

(サーファーの勇姿: 菅蒲田浜)

特集 地区避難所として再建	2
各地区で聞いてきました-議会報告会-	4
観光振興策についてなど 7人が質問	12
おらほのサークル紹介シリーズ -第6回-	20
クイズに寄せられたコメント	22

# 被災した地区公民分館を 地区避難所として

# 再建します!

## 6月 定例会

**遠山地区避難所**



特徴：集会室とホール、広場の大空間  
完成日：平成26年9月30日  
設計・監理・建築工事金額：9754万円

**要害・御林地区避難所**



特徴：夏祭りには集会室がステージに  
完成予定日：平成27年8月31日  
設計・監理・建築工事金額：8082万円

**代ヶ崎浜地区避難所**



特徴：周囲に溶け込む自然なたたずまい  
完成日：平成27年5月29日  
設計・監理・建築工事金額：8579万円


**湊浜地区避難所**



特徴：屋外テラスは夏祭りの舞台に変身  
完成日：平成27年1月30日  
設計・監理・建築工事金額：8901万円



**花洲浜地区避難所**



特徴：海風に向かって広がる大屋根  
完成予定日：平成27年9月30日  
設計・監理・建築工事金額：9267万円

**松ヶ浜地区避難所**




特徴：木の香り漂う室内と大きな舞台  
完成日：平成27年2月27日  
設計・監理・建築工事金額：8527万円

**菖蒲田浜地区避難所**



特徴：円形の屋根とテラスの曲線美  
完成予定日：平成27年7月31日  
設計・監理・建築工事金額：8997万円

**笹山地区避難所(模型)**



特徴：桜に寄り添うあずまやのような建物  
完成予定日：平成27年10月30日  
設計・監理・建築工事金額：7783万円

本町の公共施設の中で、地域のさまざまな行事や活動の拠点として利用されてきた「地区公民分館」は東日本大震災や、それに伴う大津波で多くが被災・流出しました。住民が使いやすい場所として再建に向けた改築が進んできましたが、本年度中の完成が確実にになりましたので紹介いたします。

6月定例会を6月3日から4日までの会期で開催しました。議会常任委員会の再編に伴う条例の改正や工事契約、26年度補正予算など23件の議案等を審議し、いずれも原案のとおり可決・承認しました。また、一般質問は7人が活発な議論を展開しました。

# 町へ

- 町は人口減少や観光客の減少などの対策をどのように考えているのか。
- 介護保険料が二市三町で一番高い。介護予防事業に力を入れて保険料を安くする施策を。
- 迷惑防止条例を制定してほしい。

# こうして欲しい意見・要望

- 雨水で側溝や道路が冠水する。護岸工事やポンプ設置などの対策状況を地元で説明してほしい。  
(代ヶ崎浜・東宮浜・要害地区)
- LED街路灯を地区で管理しているが、修理に多額の費用が必要のため、町で全額負担してほしい。
- 町民バス「ぐるりんこ」の運賃がミヤコIと比べ高い。日中便に乗客がいなくてもあるが、町は乗車率を把握し対応しているのか。
- 地方創生基金の方針や、町の総合戦略策定でアンケート実施前の説明が必要ではないか。
- 空き家が老朽化し、強風でトタン板などが飛んできて危険なので、町は所有者に指導してほしい。



町内12の会場で多くの意見がありました(代ヶ崎浜地区)

- 広域組合に対し多額の金額を負担しているが、活動内容などの報告が必要ではないか。
- 改選後の議会でも、報告・懇談会の継続を。
- 議会だよりは、議会の活動状況などを分かりやすく掲載している。今後も期待する。

# 議会へ

七ヶ浜町の負担金 (27年度予算)

宮城東部衛生処理組合	1億2232万円
塩釜地区消防事務組合	2億7687万円
塩釜地区斎場運営費	2978万円
塩釜地区環境センター	1241万円
後期高齢者医療連合納付金	1億7070万円

平成23年11月に初めて開催し、今回で8回目となりましたが、改選後も継続するか否かは、新メンバーでの議論が必要です。

ご愛読ありがとうございます。11ページに活動報告しましたが、今後も皆さんに親しまれる議会だよりを目指します。

## 27年度予算では

**問** 町の借金(町債)が26年度に比べ約8億円も増加しているが理由は。  
**答** 災害公営住宅整備費(事業費の8分の1負担で約14億円)や臨時財政対策債(約3億円)、七ヶ浜中学校プール改築費(約1億円)などが増加となった。

## ここはどうなのか 質疑・応答

### 議員定数削減(16人→14人)では

**問** 議員2人分の年間経費が、約1200万円だが内訳と議員報酬の年額は。  
**答** 議員一人当たり約290万円の報酬と期末手当が約87万円。ほかに政務活動費や委員会旅費などで約30万円。共済組合や議長会団体への負担金が約200万円で合計すると約600万円になる。  
**問** 報酬が低いのではないのか。アップして活動を高めたらどうか。  
**答** 報酬は特別職報酬等審議会の意見を聴いて決めることであり、県内の類似自治体とあまり変わらない。

### 町営住宅(災害公営住宅)

**問** 管理代行委託で、サービス低下や不便にならないか。また、被災した町民が入居するのになぜ保証人が必要なのか。  
**答** 町営住宅の維持・管理などは町で対応できないので、宮城県住宅供給公社へ委託するが、保証人の件も含め確認する。  
**要望** ●災害公営住宅に入居するが、神棚を付けてもらいたい。

### その他の質疑では

**問** 公園墓地(運沼苑)を多賀城市に貸与するのか。  
**答** 1区画65万円で町は市と永代使用契約を締結した。  
※7ページに掲載  
**問** 菖蒲田海水浴場の駐車場運営はどうなるのか。  
**答** まだ町は決めていないが議会としては、しっかりした方針を出させたい。  
**問** 3割増プレミアムの商品券は発売後、即売り切れた。引換券の発行などで多くの人が買える方法はなかったのか。  
**答** 3割分は国の交付金で実施した。1人5セットまでだが、早々に完売するとは想定外であったとのことである。


# 議案審議

## 議会の常任委員会を 2委員会に再編

### 議会の議決

**●多賀城市民の利用を可能に**

**内容**  
公園墓地蓮沼苑で新規造成をしたEブロック369区画のうち多賀城市に50区画の使用を許可するものです。



蓮沼苑のEブロック

### 条例改正

**●議会委員会条例の改正**

**内容**  
本年8月に予定されている町議会議員選挙での議員定数削減に伴い、3つの常任委員会を2委員会とする再編を行うもので、議員提出議案としての条例改正です。

**常任委員会の再編**

**総務・教育常任委員会 定数7人**  
所管事項  
総務課、政策課、復興推進課、復興整備課、財政課、税務課、国際村、会計課、教育委員会の所管に属する事項及びその他の委員会の所管に属しない事項

**産業建設・厚生 定数7人**  
所管事項  
町民課、地域福祉課、健康増進課、環境生活課、産業課、建設課、水道事業所の所管に属する事項

### 6月定例会 提出議案採決結果一覧 (6/3~6/4)



6月定例会では、条例の一部改正や工事契約等の議案12件、承認5件、報告4件、人事などの議案2件を審議しました。賛否が分かれた案件を採決一覧表に掲載し、全会一致の案件は名称のみ掲載しました。なお、議案名は略して記載しています。

議案名	掲載ページ	賛成	反対	議決結果	阿部慶也	我妻周悦	千葉志美枝	郷右近剛史	歌川渡	遠藤久和	大町睦夫	糸久博	遠藤喜二	鈴木勝美	渡邊淳	阿部和夫	鈴木初雄	岡崎正憲	佐藤梶信	
国民健康保険税条例の一部を改正		13	1	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○賛成 ●反対 議長(佐藤梶信)は採決に加わらない。

条例改正及び制定	掲載ページ	補正予算	掲載ページ	契約関係他	掲載ページ
○町税条例等	7	○平成27年度一般会計補正予算(第1号)	6	○工事請負契約 平成27年度被災市街地復興土地区画整理事業公共施設整備工事(菖蒲田浜地区)	6
○都市計画税条例		○平成27年度一般会計補正予算(第2号)	6	○工事請負契約 平成27年度町道菖蒲田海岸線道路改良工事	6
○地区避難所の設置、管理に関する条例		○平成27年度介護保険特別会計補正予算(第1号)		○工事請負契約 平成26年度町道吉田花洲線道路改良工事	6
○東日本大震災における原子力発電所の事故による災害被害者に対する国民健康保険税、及び介護保険料の減免に関する条例				○工事請負変更契約 平成26年度花洲浜地区避難所建築及び環境整備工事	6
○介護保険条例				○人権擁護委員の推薦	6
○町営住宅条例				○公の施設を多賀城市の住民の利用に供すること	7
○議会委員会条例				○町道路線の認定(笹山団地内 15路線)	

## 一般会計 1億2690万円を追加し 169億690万円に 補正予算

### 収入

- 国の補助金 3126万円 (地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金)
- 繰越金 152万円

**1号補正**

- 多子世帯子育て支援に 722万円
- 低所得者燃料等助成に 400万円
- 福祉タクシー自動車燃料費助成に 1098万円
- 子ども医療費助成に 1056万円

**2号補正**

### 主な収入

- 地方交付税 2948万円
- 復興交付金基金繰入金 2400万円
- 繰越金 2164万円
- 国の補助金 1218万円
- 町営住宅等の使用料 471万円

**主な使いみち**

- 塩釜地区斎場運営費負担金に 1119万円
- 共同利用漁船等復旧支援に 2348万円
- マイナンバー制度システムほかの電算委託料に 4526万円
- 町営住宅管理代行委託料に 1068万円

※金額は千の位で四捨五入しています。

### 人事

人権擁護委員の推薦  
再任  
引地淑子さん(67歳)  
(花洲浜)  
平成27年10月1日から3年間

### 訂正

議会だよりNo.123の記事の一部に誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。  
一般会計予算(P5)歳出グラフの内、災害復旧費 2億1550万円  
正 2億1550万円

工事契約			
工事名	契約先	金額	工期
被災市街地復興土地区画整理事業公共施設整備工事(菖蒲田浜地区)	池田建設(株)	1億2528万円	平成28年3月31日
菖蒲田海岸線道路改良工事(B工区)	中鉢建設(株)	5292万円	平成28年3月31日
町道吉田花洲線道路改良工事	日建工業(株)	6826万円	平成28年3月31日
変更契約			
花洲浜地区避難所建築及び環境整備工事	浜田工業(株)	8339万円(79万円の増額)	地盤改良工事の追加

# 委員会レポート これも議会の仕事です



震災直後の花洲・吉田漁港



再建途上の花洲・吉田漁港

平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」は、本町にも想像に絶する被害と心労を与えました。本町議会にとっても経験をしたことがない状況であり、その対応に追われることとなりました。平成23年3月24日に議員協議会を開いたのを皮切りに、大震災復興対策特別委員会として今日に至るまで66回の会合・活動を行ってきました。

**1. 震災直後の対応**  
震災発生後、議員からの意見聴取に基づいて「応急仮設住宅の確保への早急な対応」を、町長あて書面にて緊急要請を行いました。その後、現地視察を行いながら82項目にわたる要請事項を取りまとめました。さらに応急仮設住宅入居者との懇談会を地区ごとに開催するとともに、地域住民

**2. 公共施設の復旧**  
津波による流出や震災で使用不能となった公共施設は、住民の生活に多大な損失を与えました。国からの復興交付金等を財源として復旧・復興が行われていますが、その財源確保には行政のみならず議会および町村議会も国・県への要望活動を頻繁に行いました。しかし、十分な支援や補助が受けられず、事業には多額の町債などで充てざるを得ない状況でした。

**3. 被災者支援施策**  
生活支援等に関する支援制度の説明を頻繁に担当課から受けるとともに意見交換を行い、さらなる拡充等を議論し、以下の要請を行いました。  
①住宅や土地、生活ならびに農水産業に関わる支援制度の拡充。  
②浸水被害区域に対する要望や対応、方針の確認。  
③現地視察と要望事項のまとめと要請。

**4. 都市公園の維持管理**  
本委員会の第一分科会では「都市公園の維持管理のあり方」に対する勉強会ならびに検討会を開催し、次のようにまとめました。  
現在の議員による活動は、任期満了に伴い終了しますが、今後とも復興の状況を見守ること、早期の復興に尽力することが重要な課題です。

## 震災特別委員会

### 震災からの復興に向けた歩み

# 追跡

## あの質問のゆくえ どうなったの？

税金のコンビニ収納についての質問を取り上げました。

平成20年6月定例会



追跡

**問** コンビニ収納で町税の収納率はどう見込まれるか。  
**答** 取り扱い手数料が高く、費用対効果を考えると難しいが、納税機会確保のため検討を始める。

平成25年3月定例会



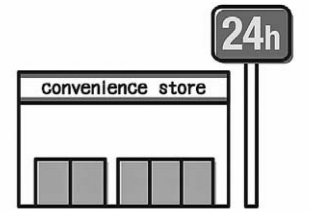
予算審査特別委員会

**問** 費用対効果よりも町民の利便性を重視して、平成24年度から導入したが、効果は。  
**答** 効果はあったが、なお広くPRして税金を納めやすいよう努めたい。

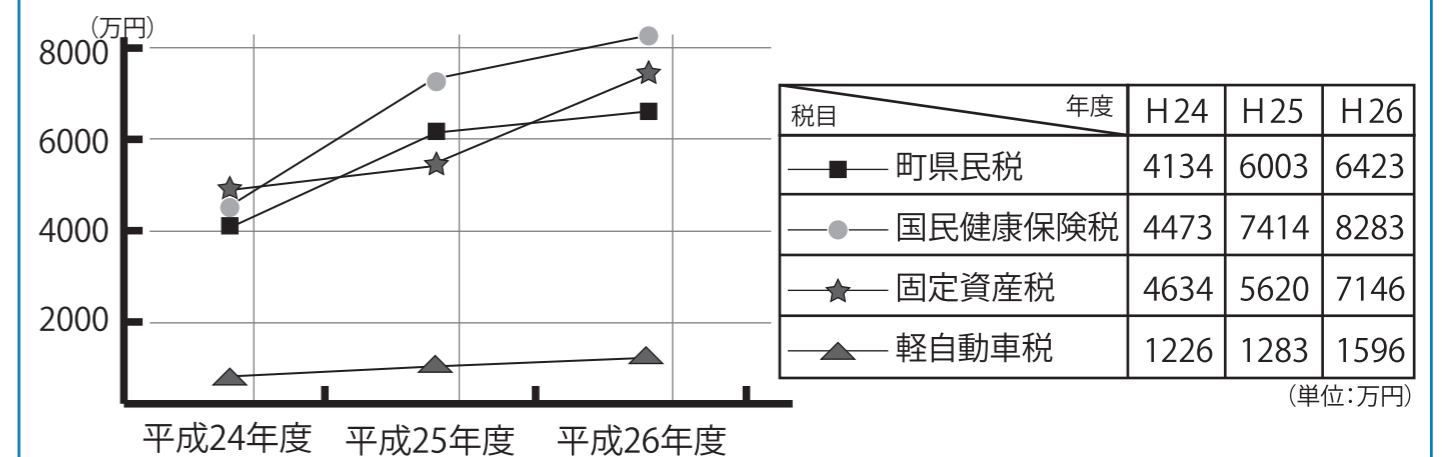
平成27年3月定例会

予算審査特別委員会

**答** 年々利用率が向上している。窓口納付者が、コンビニ収納に切り替え、期限内納付の向上にもつながっている。



### コンビニ収納処理金額の推移



# 産業建設

## 大船渡市・南三陸町を

### 視察研修

本委員会では調査活動期間中、2つの調査事項に取り組んできました。前半は東日本大震災で農地の塩害問題が深刻だったため、農地の復興対策を調査し、問題や課題の改善に取り組みました。後半は生産・加工販売までの6次産業化を目指すまちづくりが進められている中、本町の資源を活用し、いかにしたら観光客の誘致が図られるのか、経済効果に結び付くのかを協議し「観光の振興策について」の調査活動に取り組んできました。七ヶ浜町や松島町観光協会との懇談会や、鼻節神社、多聞山等町内観光スポット7カ所の現地調査をしました。

また先進地視察として平成27年4月20日、岩手県大船渡市の商業観光課と(有)三陸とりたて市場、(株)シー・フロント(大船渡、屋形船)。4月21日、宮城県南三陸町の研修センター「まなびの里いりやど」の4カ所での研修しました。各委員提出の報告書を基に視察のまとめを行い、これまでの調査活動を総括しました。



屋形船で研修

以上で所管事務調査を終結し、議長あてに調査報告書を提出。今後の観光のあり方などを、委員会を代表して6月定例会で一般質問を行い、町の考えをたえました。(P13)

本委員会では平成26年10月から調査に入り、先の大震災を経験した町民が震災以降に、防災と減災を考慮し非常時における困難を少しでも回避することができるようになるため、以下の3点を調査しました。

- ①災害時の情報伝達方法
- ②住民への情報発信に関すること。
- ③防災計画や行政情報、観光情報等の周知の活用。



町の防災無線局

今回の調査は主として所管担当課との情報交換や通信業者との意見交換、実際活用している国際村事務局との意見交換です。調査結果は、インターネット通信環境(SNS)

利用のWiFiなど、通信環境が整えば利用価値があります。現時点では犯罪に悪用される恐れ等を考慮し、導入には時期尚早と判断し、調査を終了することに決定しました。

# 総務

## SNSを利用した

### 防災対策を調査

# 教育民生

## 埼玉県の学童保育活動を

### 視察研修

本委員会は、次世代育成支援策として放課後児童保育を調査するため、5月12日～13日に先進地の埼玉県寄居町と、埼玉県学童保育連絡協議会があるさいたま市を視察研修しました。

#### 研修内容

##### 寄居町学童保育

昭和58年に保護者と勤務する職員が「学童保育の会」を設立し、放課後の保育に欠ける小学1年生から6年生までの児童を学童クラブで受け入れています。「学童保育の会」は、クラブの利用時間や料金の設定・徴収指導者の募集・配置など運営のすべてを行っています。町との委託契約により補助金を受けて自立していることは特筆すべきことだと思えます。

##### 埼玉県学童保育

##### 連絡協議会

県は学童保育に力を入れているため、県内の小学校819校に1116のクラブがあり、設置率と設置数は全国上位です。

運営形態は公設公営33%、NPO25%などですが、近年は指定管理者制度の導入が進んでいます。

#### 2年間のまとめ

●平成25年10月から26年5月まで「学校教育環境の充実について」次のことを調査しました。

- ①2学期制導入後の学力への影響を検証。
- ②震災による被災児童・生徒の学力への影響。
- ③七ヶ浜中学校、給食センターの建設状況など。

●平成26年6月から27年5月までは「地域福祉の充実策について」とし、担当課から高齢者福祉などの計画内容の説明を受けました。その中から次世代育成



寄居町の学童保育施設を視察

支援行動計画を調査することに決定し次のことを調査しました。

- ①遠山保育所の不具合箇所の修繕状況。
- ②認定子ども園の現状。
- ③公園の遊具等整備状況。
- ④留守家庭児童保育館の取り組み状況。

2年間に、委員会を19回開催し、調査報告書を議長に提出して終了しました。

# 議会広報

## 町民参加で

### 身近に

議会だよりの編集に携わった現在の委員も今回の発行が最後となりました。読みやすい議会だよりの目指して編集をしてきました。

●町民参加の記事を増やしました。

- ①おらほの学校紹介と幼稚園紹介シリーズ。原稿の作成や紙面レイアウトをお任せし、独自の味を出していただきました。
- ②おらほのサークル紹介シリーズ。文化協会と体育協会に所属するサークルにインタビューをして紹介しました。

●議会報告会での指摘を受けて、予算や決算の項目を解説しました。

●クイズ記事を掲載したことで回答とともにたくさんコメントをいただけるようになりました。

これからも町民のみならず参加でき、身近に感じられる議会だよりの編集に努力します。



広報委員のメンバー (NO.124編集中)



わたなべ あつし  
渡 邊 淳

# 着地型観光は推進するか

**町長** 本町にふさわしい観光のあり方だ

**問** 総合戦略策定の体制は。 **答** 総合開発審議会の下部組織に、まち部会ひと部会、しごと部会とともにワーキンググループを立ち上げ、重点施策別のワーキンググループで総合戦略をつくる。

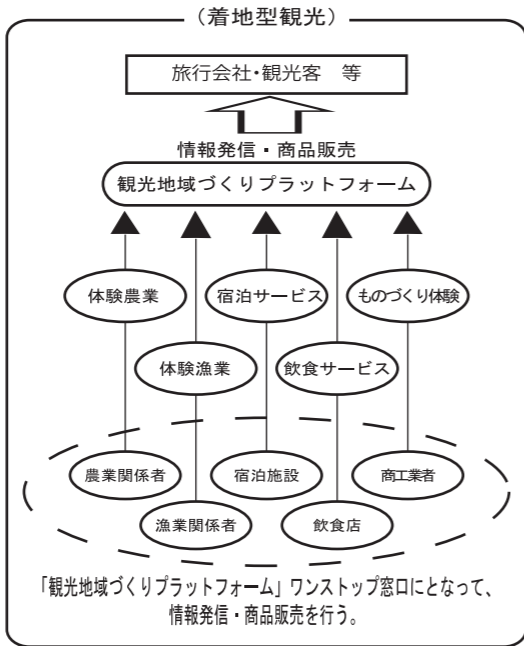
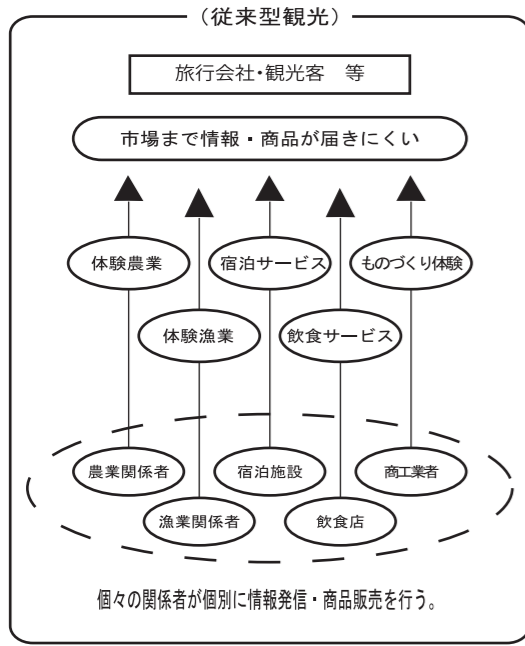
**問** 産業建設常任委員会は約1年間にわたり観光推進強化策に取り組んできた。国も観光振興策が日本再生の戦略の一つである。視察地区と比較し本町の観光に対する情熱は差がありすぎた。本町の観光振興策の策定は考えているのか。 **答** 町長 観光振興策は総合計画後期基本計画と総合戦略の中で重要な位置づけであり可能な限り盛り込む。

**問** 観光庁の広域観光周遊ルート促進事業や地域資源を活用した観光地魅力創造事業への参画は。 **答** 事業参画は考えていないが、観光庁の観光圏の整備を通じた観光案内所や景観の整備、地域資源の保全、観光情報

**問** 着地型観光の商品開発に外部人材の導入と住民参加が必要と思われる。特にリーダー育成は大事だが育成や導入、住民参加の誘導はどのように考えているのか。 **答** 震災前も観光だけでなく、人材も乏しかった。なんとか販わいを創出し

**問** 危険区域で町が買い取った土地利用を促進するため、土地を使いやすくしておく考えはないか。 **答** 町長 産業を誘致するには、土地を利用しやすくしておくことが懸案事項である。国も未

**問** 外国人観光客を受け入れる通信環境整備の効率的な導入を検討していく。 **答** 旅行者の満足度向上につながる通信環境の効率的な導入を検討していく。



## 危険区域の土地利用促進を

**町長** 早急に検討していく

**問** 危険区域で町が買い取った土地利用を促進するため、土地を使いやすくしておく考えはないか。 **答** 町長 産業を誘致するには、土地を利用しやすくしておくことが懸案事項である。国も未



## 一般質問一覧表

6月定例会の一般質問は、3日と4日の2日間行い、7人が活発な議論を展開しました。内容は質問者の原稿を原文に近い形で13ページから19ページに掲載しています。なお、タイトルは通告のとおりです。

**渡 邊 淳** ..... 13ページ

- 観光振興策について
- 災害区域の土地利用促進のため、土地の整形化の必要性について

**千葉志美枝** ..... 14ページ

- 認知症対策の強化について
- 防災計画策定後の福祉避難所の整備について

**歌 川 渡** ..... 15ページ

- 応急仮設住宅等からの「住宅移転費用」補助は全入居世帯を対象にせよ
- 非婚ひとり親世帯に「みなし寡婦控除」適用を図る考えはないか
- 住民負担の重い国民健康保険税を引き下げよ

**岡崎 正憲** ..... 16ページ

- 使用目的を限定したふるさと納税を
- アクアリーナ屋上庭園の有効活用を

**阿部 和夫** ..... 17ページ

- 既存公民分館のエアコン設置について

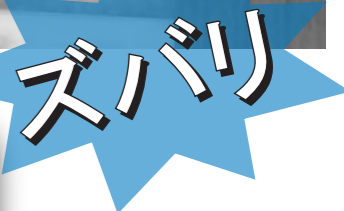
**鈴木 勝美** ..... 18ページ

- 阿川沼の環境改善に向けた今後の対策について

**郷右近剛史** ..... 19ページ

- 若い世代の投票率を向上させる施策について
- 町長の公約の達成度について

※傍聴される方には、一般質問の要旨が記載されている資料を配布しています。



# 町政を問う



千葉 志美枝

# 認知症対策のさらなる強化を

## 町長 「認知症カフェ」など実情に応じて

**問** 団塊の世代が75歳以上になる平成37年には、認知症の人が約700万人に激増するとみられている。国では「認知症施策推進総合戦略」を策定し強化を図っているが、27年度実施の認知症サポーター養成講座では、何人のサポーターを目指していくのか。

**答** 町長 国では29年度末でサポーターの人数目標を800万人に引き上げている。本町では今年度は100人から200人を養成したい。

**問** 国では、早期診断・対応のための認知症初期集中支援チームを、30年度までに全市町村で設置することを掲げているが、どのように立ち上げていく計画か。

**答** 本町でも認知症高齢者が増加傾向にある。地域包括支援センターや医療機関が連携して、初期の支援を集中的に行い適切な治療と自立生活につなげていく。設置の時期は県の指導を受け、塩釜医師会等と協議していきたい。

**問** 認知症の人や家族、地域の人が相互的に助け合う居場所づくりとして、気軽に集える「認知症カフェ」を立ち上げ普及させる考えは。

**答** 職員2人が、認知症地域支援推進員の資格を得ており、地域の実情に合った企画や、利用しやすいように介護者家族の会とも協議していく。

**問** 重要な役割を担う傾聴ボランティアは、どのように養成し、活動の拠点をどこにするのか。

**答** 単に話を聞くだけでなく、心で聴いて受け止めることが重要なので、養成講座を開催し、傾聴の技能を習得してもらう。「認知症カフェ」や「家族会カフェ」での活動を考えている。

## 福祉避難所の整備状況は

### 町長 指定避難所と協定を締結した

**問** 災害発生時の、一般避難所では生活が困難な高齢者や要介護者の福祉避難所を、防災計画策定後に順次進めたいとのことであったが、事業所の指定や協定等、どのように実施していくのか。

**答** 町長 26年3月に策定した町地域防災計画にも、避難収容対策として盛り込んだ。町内の介護施設と協議し、本年4月に第二清葉苑や自生苑ならびに七ヶ浜デイサービスセンター、海の宮鈴乃音と協定を締結した。町の老人福祉センターを含め、6施設を福祉避難所として指定している。

**問** 「あさひ園」を障がい者福祉避難所として正式に協定を結ぶ考えは。

**答** 25年12月議会でも回答していたが、本年4月1日に、町社会福祉協議会と締結を完了した。



いつまでも地域の和の中で



福祉避難所の鈴乃音

**問** 地震被害を受け、応急仮設住宅に入居している方が、町内に住宅再建した場合の「移転費用」補助は対象外となっている。すべての応急仮設入居者を補助対象にする考えはないか。

**答** 町長 移転費用の対象者と財源は3つある。1つは高台団地へ移転する防集移転事業。2つは津波被災者再建支援3つは災害公営住宅の入居者支援。独自支援をした場合、すでに住宅再建した方と不公平が生じる。一律に設けたものではない。

**問** 地震被害世帯のうち、災害公営住宅入居以外で住宅再建される世帯数は。

**答** 94世帯である。



応急仮設住宅

## 住民負担の重い

### 国保税を引き下げよ

#### 町長 負担の公平性から、考えはない

**問** 年金支給額の引き下げや消費税の増税で町民の生活が困窮している。国民健康保険税の負担が重い。国保加入世帯は平成25年度決算資料で2677世帯。そのうち法定減免を受けている世帯は1257世帯で加入世帯の約47%が減免を受けている。

**答** 町長 ①平成26年度で、471世帯、651人。  
②162世帯、279人。  
③応益割の均等割、平等割で軽減措置をしている。  
④平成25年度末で約2億1444万円。平成27年度まで国の特別調整交付金は、その後取崩しの見込み。  
⑤本来の主旨に沿ったものでないため、考えはない。  
⑥宮城県町村会を通じ要望している。

#### 法改正が必要

## みなし寡婦(夫)控除の適用を

### 町長 理解はできるが、

**問** 非婚のひとり親家庭が、税制の「寡婦控除」が適用されないことで、不利益を受け法の下の平等に反する。「寡婦控除」をみなし適用として実施する自治体が増えている。「みなし寡婦控除」を適用することで、寡婦世帯同様に所得税や保育料の負担軽減が受けられるが、実施する考えはないか。



**答** 町長 寡婦控除の適用は理解できる。結婚歴の有無で、ひとり親世帯や子どもに格差が生じるのは不合理である。自治体で制度化することも必要だが法の改正が必要ではないか。

## 移転費用を全仮設入居者に支給せよ

### 町長 すでに住宅再建した方と不公平が生じる



うたがわ わたる 歌川 渡



# 既存公民分館に エアコンを

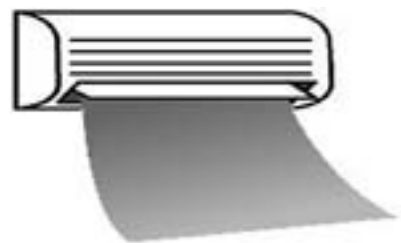
## 教育長 地区の要望を確認したい



あべかずお  
阿部和夫

**問** 東日本大震災から5年目になるが、被災した方々の生活も高台移転や災害公営住宅入居も進み、少しずつだが安心・安全な生活を営み始めた。被災時、公民分館は町内の避難住民を受け入れ宿泊や炊き出し等を行い住民の救助救援活動に大変役立った。

**答** 教育長 これまで町復興に取り組んできた結果、地区避難所整備は8カ所中4カ所が完成している。現在施工中の4カ所は今年度内に完成予定である。公民分館の6カ所はエアコンが未設置であり、そのうち汐見台地区から設置要望が出されている。なお、改修工事が必要とする分館は多額の事業費を要することから、宮城県で実施予定の被災地域交流拠点整備事業に申請をする方向である。地区から詳細を聞きながら内容を協議したうえで申請する予定になっている。



**問** 早急に調査する見通しは。汐見台からは出され民分館から要望がないのはエアコンを必要ないと考えているのか、それとも金銭的なもので設置を躊躇しているのか、それらを含めて早く調査してみる。最終的にはすべてエアコンを設置できるようなことを考えている。

**問** 公民分館には町所有と地区で建設したものがあ、未設置分に対し補助金を出す考えはあるか。

**答** 町長 いま建設中の地区避難所は町所有である。教育長答弁のとおり、1カ所から設置の要望が出されているが、他地区では具体的に必要性があるのか調査をした。



おかざきまさひろ  
岡崎正憲

## 町長 前向きに検討したい 使用目的を限定したふるさと納税を

**問** 3月の予算委員会で示されたふるさと納税に対する本町の基本姿勢である「多額の納税を募るため派手な品物を贈る自治体もあるが、納税の趣旨を踏まえて実施したい」との趣旨に全面的に賛同する。寄付金額の多寡を強調する訳ではないが、実績と予算は一考を要するとも考えられる。



工事中の公園予定地

**答** 町長 ふるさと納税制度は平成20年度に導入され、本町では平成26年度までの7年間で141件1104万円の寄付が寄せられた。お礼には七ヶ浜町誌と広報紙を贈らせていただいたが、本年から七ヶ浜産の焼海苔や米、海産物から選ん

でいただくようにした。寄付金は使途を示さず一般財源として利用してきたが、全国の多くの自治体では充当事業を示している。今後、納税者が何に使ってほしいかなど調査し、前向きに検討したい。

**問** 特に、今後整備される海浜緑地公園の維持管理費用を念頭に置いたふるさと納税として募集できないか。

**答** 維持管理には多額の費用を必要とする。七ヶ浜の景観と環境を保全するために公共施設の維持管理費用としての基金の一部とすることや国際交流や文化事業などふるさと納税にふさわしいメニューを前向きに検討したい。

**問** アクアリーナ屋上庭園は、当初ハーブ園として整備されてきたが、現在は雑草が全体を占め野放し状態となっている。リフレッシュを目的としたマツサイジ室からの景色にはそぐわない状況である。指定管理者へ委託することやネーミングライツ募集を含め、花壇等として整備や活用を望むが、有効な活用方法に対する基本姿勢は。



残念な雑草の庭園

**答** 教育長 震災による修繕期間以後、ハーブ等の植栽はしていたが十分な管理ではなかった。今回指定管理者へは改めて指導をした。

**問** 今後、専門家のアドバイスを受けながらハーブ園として整備し、町内外の利用者から親しまれるアクアリーナを目指したい。

## アクアリーナ屋上庭園の 有効活用を 教育長 ハーブ園として整備したい



こうこん たけし  
郷右近 剛史

# 引き続き町政運営に携わる覚悟は

**町長** 6月半ばまでにはっきりさせたい

**問** 町長は9月に任期満了になるが、今期の公約は何だったのか。  
**答** 町長 復興という大事業に邁進することが、この4年間に掲げた唯一の公約である。

**問** 公約はどのくらい達成できたのか。  
**答** 七ヶ浜町震災復興計画前期基本計画の復興重点策を見て評価してもらいたい。

**問** 任期満了前に公約の達成度を町民に説明する考えはあるか。  
**答** 達成した公約を、一つ一つ述べることはおこがましい。



かずき すずき  
勝美 鈴木

# 阿川沼の環境改善と今後の対策は

**町長** 管理は土地改良区に

**問** 阿川沼のヘドロ等の環境改善を求めることで、以前、町長は「七ヶ浜土地改良区の女性部がハスの花を収穫する目的で植えたためにヘドロが堆積したが、水質は改善に向け検討する」と答弁している。それから何年たっても阿川沼は何の改善もされず、現在は約

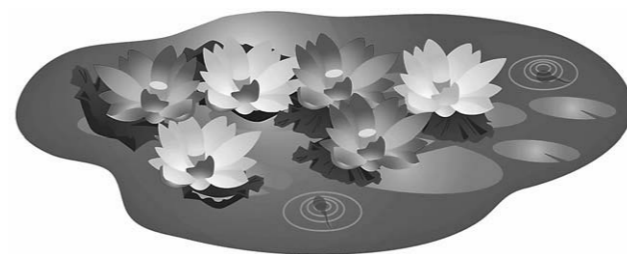


阿川沼の現状

半分がヘドロやハスの花腐れで埋まっており沼としての役割を果たしていない。震災復興で「景観を生かしたまちづくり」が進められているが、現段階で阿川沼の方向性が定まっていらないように思われる。景観等の管理を、町は七ヶ浜土地改良区にどのような指導をしてき

たのか。また、町は阿川沼の環境改善に向けた今後の対策をどのように考えているのか。  
**答** 町長 平成22年度に土地改良区と町が協力しハスの除去作業を実施した。現状は農業用水としての沼の役割はきちんと果たしているものと考えている。また、現在阿川地区の水田においてほ場整備事業を行っているが、その事業の中で阿川沼の浚渫が必要であるか関係機関と協議し、環境保全に努めたい。

**問** 平成19年第4回定例会において、町長は「土地改良区と今後の対応を検討していきたい」と答弁しているが、検討はしたのか。  
**答** 農業用水として適正であるかどうか最大の問題だったが、土地改良区からは「何も問題ないので何かあったら町にお願いする」ということであった。



## 若い世代の投票率を向上させる施策は

**総務課長** 「選挙に行くべきだ」と思う施策を具現化したい

**問** 4月の統一地方選挙では前回より投票率が低下したが、特に若い世代の低下が著しい。若い世代の投票率を向上させるために、本町独自の施策はあるのか。  
**答** 町長 先進的な取り組みで実績を上げていく自治体の実例を参考に、町選挙管理委員会とともに取り組む。

**答** 総務課長 このような先進的な事例よりも、若い世代が「選挙に行くべきだ」と思うような施策を具現化したい。

**問** 現時点において、引き続き町政運営に携わる覚悟はあるのか。  
**答** 年齢もだいぶ高くなっており、加えて家庭の事情もある。そのことを考えてどうあるべきか、日々悩んでいるところである。6月半ばまでには、はっきりさせなければという考えである。

**問** 任期満了前の最後の定例会で表明する考えはないのか。  
**答** 議会だから表明しなければいけないというつもりもない。

**問** なぜ、期限を6月半ばと設定したのか。  
**答** 私は1週間以内で準備できるが、新人はいろいろな準備が必要であり、最低でも2〜3カ月かかる。新人に配慮して期限を設定した。

**問** 駅やコンビニ、大学に期日前投票所を設置している自治体や地元商店街と連携して様々なサービスを提供している自治体もある。本町もこのような先進的な事例を取り入れる考えはあるか。



# いさり火短歌会

代表代理 土井 義子さん (代)



「いさり火」の仲間たち

**Q** 設立時期と名称の由来は。  
**A** 昭和45年4月に、当時の図書センター内に文芸講座として立ち上げました。七ヶ浜は漁業の町なので、夜の海にほのかに浮かぶ「漁り火」から名付けました。

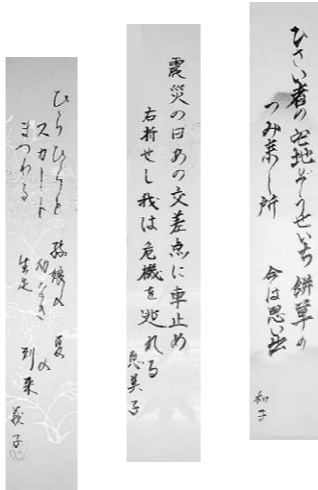
**Q** メンバーは何人ですか。  
**A** 11人です。

**Q** 活動状況は。  
**A** 2月に1回中央公民館で歌会を開いています。自分の作品を、前もって齊藤梢先生に送って見てもらい、歌会の時に直接指導を受けています。

**Q** 今後の目標は。  
**A** 会員の高齢化が進んでいますが、「いさり火の灯を絶やすな」を合言葉に頑張っています。

**Q** 議会へ望むことは。  
**A** 文化まつりに作品を展示しますのでご覧ください。そして是非入会を。短歌は難しくありません。日本語が読めて、書いて話せば大丈夫です。うれしいこと、悲しいことなど、自分なりに表現してみませんか。

## 作品 短歌三首



# 七ヶ浜町卓球協会

理事長 鈴木 安彦さん (東)

**Q** 設立はいつですか。  
**A** 昭和50年6月です。

**Q** 結成の目的は。  
**A** 七ヶ浜町体育協会の結成に伴い、加盟団体として登録の呼びかけがあり賛同しました。

**Q** メンバーは何人ですか。  
**A** 設立当時は加入も難しい状況でしたが、現在は100人近い会員がいます。

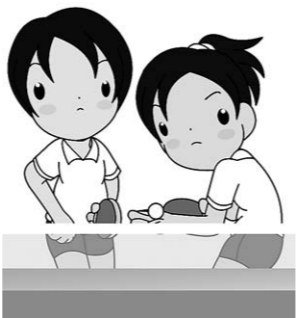
**Q** 活動状況は。  
**A** 大会を年3回開催し



若手最強メンバー

**Q** 期待することは。  
**A** 本協会として支援している向洋中学校卓球部は、男女とも常に中体連県大会で上位の成績を維持しています。今年8月に地元宮城県で開催される全国中学校卓球大会でも大いに活躍を期待しています。

**Q** 今後の目標は。  
**A** みじかで簡単にできるスポーツとして、さらに地域卓球の普及を図っていきます。



# ナツメロ&ヒットソング(絆)

代表 わがつま えみこ 我妻 恵美子さん (遠)



みんなで和気あいあいと

**Q** 設立時期と名称の由来は。  
**A** なじみの深いナツメロと新しい歌謡曲を歌うサークルとして、平成20年5月に設立しました。会員同士のつながり、地域との結びつきを大事にしたいの思いから、「絆」と名付けました。

**Q** メンバー構成は。  
**A** 町内4人、町外4人の8人です。



慰問で高齢者に元気を

**Q** 活動状況は。  
**A** 第1、第3水曜日に中央公民館を使用して、午前10時から12時まで練習をしています。また、2、3月に1度、特別養護老人ホームなどの慰問活動を行っています。

**Q** 今後の目標は。  
**A** ただ今、会員募集中です。「唄は健康のもと心のオアシス」をモットーに、これからも楽しくにぎやかに歌っていききたいと思っています。

**Q** 町に望むことは。  
**A** 青空市や七の市のイベントで唄ってみたいと思います。会場の皆様に「青空ソング」をお届けできればうれしいです。

**Q** 設立の経緯と時期は。  
**A** 宮城県年金受給者協会からクラブの案内があり、二市三町で本町のみがパークゴルフがなかった。

たので平成25年10月に設立。26年4月に町の体育協会に加入しました。

**Q** メンバー構成は。  
**A** 37人で、うち女性が6人です。

**Q** 活動状況は。  
**A** 毎年4月から11月まで、おおひら万葉パークゴルフ場で月例大会を開催しています。また春と秋には二市三町で実施する支部長杯や、年1回10月に開催される宮城県大会に出場しています。

**Q** 今後の目標は。  
**A** 会員の健康増進と親睦を図りながら、平成30年には自分たちが東仙台支部長杯の幹事になるので、正確なルールのマスターや、技術の向上を目指していきたいと思っています。

**Q** 議会や町に望むことは。  
**A** 日ごろの練習には大衡村のパークゴルフ場まで通っているので、町内に練習できる場所を設置してもらいたいと思っています。



腕をみがいて優勝するぞ！ (おおひら万葉パークゴルフ場)

# 七ヶ浜町パークゴルフクラブ協会

代表 佐藤 稔さん (遠)

# クイズに寄せられた 皆さんからのコメント

議会だよりのクイズへの応募ありがとうございます。解答とともにたくさんのコメントもいただきました。今までお寄せいただいた内容を紹介します。

(原文に近い形で掲載しました)

## 議員定数

●議員定数の2人削減には、やはり経費削減のためにも必要だと思えます。もっと年金者が生活しやすい国づくりを願います。  
(57歳女性)

●いつも議会だよりを愛読しております。今回議員定数を削減されたのは本当に良かったと思います。厳しい財政状況の中、痛みを分かち合いながら、より良い町づくりの推進をよろしくお願いいたします。  
(60歳女性)

## 少子化と婚活

●初めて議会だよりをじっくり読みました。少子化対策として例えば、18歳までの医療費助成の引き上げや、仙台市のような子育て世帯対象の町営住宅入居者募集など子育てしやすい環境があれば、若い子育て世帯が自然豊かな七ヶ浜で子育てをしたいと思うのではないのでしょうか？

●住みよいく考え人口の流出を防ぐだけではなく、転入のきっかけになると思っています。核家族家庭が増えていること、七ヶ浜の



交通の不便さ等を考えると婚活し結婚しても少子化対策には繋がらないような・・・

●隣町に比べて何か特化した子育て世帯への支援制度がある、できることが一番の少子化対策になるのではないかなと思いました。読んでいろいろ考えさせられました。  
(25歳女性)

## 水道料金

●震災以前より節水には気をつけていますが、水道料金が高いのには困っています。雨水を溜めたり、いろいろ工夫をしていますが・・・  
(64歳女性)

●洗車好きにとって水道料金の値下げは助かります。  
(男性)



## 資源ごみ

●ペットボトルの回収ですが、資源ごみの時でもダメでしょうか？  
(64歳女性)

●回収業者の車両のやりくりや回収時間の関係で、むずかしい面がありますが、来年度は同時収集に向けて検討中のようなので、汚れたペットボトルは燃えるごみに出すことも可能ですが、洗浄のうえラベルとキャップを外して別々に出していただきたいと思います。  
(49歳女性)



今日はペットボトルの収集日

## 教育環境

●学力向上に向け、先生方は日々子どもたちに力をつけているようです。七ヶ浜の保護者が学力向上にもっと興味を持つべきだと思います。私も親の一人ですが懇談会に参加すると保護者の考えの甘さを感じます。町全体がのんびりしているのです。それが良いところ？いるいるな考えはありますが、学力はないよりはあった方がいいですよ。



●わが家でも子どもと一緒に私も勉強しています。  
(49歳女性)

## 議会への期待他

●なかなか詳しく知る機会がない議会のことは議会だよりをしっかり読んでいます。復興計画に基づいて取り組んでいただき、とても心強く感じています。  
(64歳女性)

●いつもいつも愛読しております。ご苦労様です。復興住宅に早く入居したいです。あと何年？指折り数えて待っております。  
(女性)

●議会の内容は、町民にホウレンソウ(報告・連絡・相談)が必要では。  
(61歳男性)



議会報告・懇談会の様子

お知らせ  
年2回、議会報告・懇談会を各地区で開催した際は、ぜひご参加ください。お待ちしております。

# クイズ？

＜3択から選んでね＞

総務常任委員会レポートから

問1 今後、防災連絡・行政情報や観光案内などにインターネット通信環境の利用頻度が高くなります。利用される媒体はなんですか。

- ①電話回線 ②光ケーブル ③Wi-Fi

産業建設常任委員会レポートから

問2 宮城県が推進するのは何という湾ダークランドでしょうか。

- ①松島 ②塩竈 ③気仙沼

教育民生常任委員会レポートから

問3 学童保育の会を設立している先進地の町はどこでしょうか。

- ①沖縄県北谷町 ②埼玉県寄居町 ③北海道美幌町

応募方法： はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢、  
議会へのご意見を書いてお送りください。

(メール可)

正解者の中から抽選で3人の方に図書券を  
進呈します。

あて先：〒985-8577 七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1

七ヶ浜町議会事務局 議会だより係

Eメール gikai@shichigahama.com

締切り：平成27年8月14日 (当日消印有効)

前号の答え： 問1 ① 問2 ② 問3 ③

当選者： 副島美保さん、音羽和恵さん、  
丹野栄子さん

## 議会を監視するのはみなさんです。

一次の定例会は9月開会予定ですー

詳しくは議会事務局まで TEL357-7435  
または、町ホームページ「町民便利帳」を  
ご覧ください。

<http://www.shichigahama.com>

議長	佐藤 梶信	副議長	渡邊 淳	委員	遠藤 喜二	副委員	千葉志美	委員	糸久 博	委員	岡崎 正憲	議長	遠藤 喜一
----	-------	-----	------	----	-------	-----	------	----	------	----	-------	----	-------

議会広報編集特別委員会  
新しく構成される議会  
広報編集委員にも、『読  
みやすい議会だより』を  
目指して、頑張ってもら  
いたいと思います。

が徐々に多くなり、議会  
への関心が高まりつつあ  
ることが垣間見えます。  
新しく構成される議会  
広報編集委員にも、『読  
みやすい議会だより』を  
目指して、頑張ってもら  
いたいと思います。

◆早いもので議員になっ  
て4年が経とうとしてい  
ます。毎回定例会が終了  
すると『議会だより』の  
編集作業に追われます。  
新人議員としては、基  
本的なことや検証の勉強  
にも大いに役立ちました。

◆早いもので議員になっ  
て4年が経とうとしてい  
ます。毎回定例会が終了  
すると『議会だより』の  
編集作業に追われます。  
新人議員としては、基  
本的なことや検証の勉強  
にも大いに役立ちました。

編集後記



## 我が町に寄せて

少子高齢化を脱却するために、「増やそう町民」という発想で仙台市宮城野区福室にお住まいの武井さん親子にお尋ねしました。



たけい まさき  
武井 真樹さん

みゆう めぐみ  
美優さん 恵さん

Q セブ浜町に対する想いは。

A サーフィンを通じて、環境的にも良いセブ浜町に住みたいと思いました。健康的で東北の湘南とも言えるセブ浜町の海が好きです。

半島になって周囲を海に囲まれ、のんびりとした時間が流れています。サーフィンするにも子育てするにも最高の環境だと思います。

Q 居住したらどのように生計を立てますか。

A サラリーマンをしながら、就労体験を積み、将来的にセブ浜町で独立していきたいと考えています。漁業に従事し浅海・養殖を考えています。

Q 町に対しての要望は。

A 若い人は、インターネットを活用しているので、「漁師.jp」や町のホームページに漁業や農業への就労支援及び就労体験等の情報を掲載してほしいです。あわせて空き物件情報などもあれば移住希望者は増加すると考えます。

また、仙台への買い物や病院への交通の便を充実させてほしいです。